

募 集 ボランティアさん
皆様のお力をお貸しください。
栄福社会は地域の皆様のお力を必要としております。
ご見学、お問い合わせは、お電話にて承ります。

[お問い合わせ先]
042-540-1033 (キッチンさかえ担当 齊藤)
042-540-1035 (サポーターズさかえ担当 猪股)

[発行]
一般社団法人栄福社会

[住所]
〒190-0003 東京都立川市栄町三丁目2番地

[Web サイト]
<http://www.sakaefukushi.jp/>

[事業内容]

〈障害者総合支援法〉

◎ キッチンさかえ (就労継続支援 B 型)
TEL 042-540-1033 FAX 042-540-1035
営業時間 8:30 - 16:00
休 日 土日祝、年末年始

〈介護保険法〉

◎ サポーターズさかえ (地域密着型通所介護)
◎ ケアサポートさかえ (居宅介護支援事業)
TEL 042-540-1034 FAX 042-540-1035
営業時間 8:00 - 17:00
休 日 日、年末年始

[駐車場]

ビル裏手 No14、No15、No16 の
空いている箇所をご利用ください。

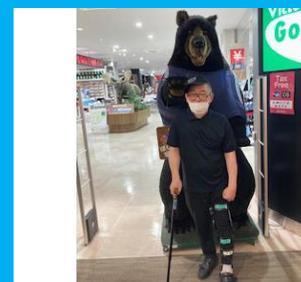


さかふく通信

vol.151
2024.11



お豆腐の主な原料の大豆の袋を再利用したバックのオーダーをいただきました。このバックの持ち手には、刺し子で作ったデニムを採用します。先日、この大豆バックをオーダーして頂いたオーナーの方が見学に来られて、刺し子で作ったデニムに、お褒めの言葉を頂きました。



少しずつ涼しくなってきましたが、気温差に体調を崩しやすい気候ですね。このような時期は食事・水分・睡眠・運動が重要になりますので、サポーターズ栄で美味しい食事、体操、余暇活動や歩行訓練兼ねての外出を行い体調管理にも役立てましょう。そして「笑い」は体の中から健康にしてくれますので、皆で楽しい企画を立てましょう！

今年8月より新しくお世話になっております、増山真希子と申します。ご利用者様、ご家族様にも安心して喜んでいただけます様に頑張りますので、ご指導の程宜しくお願い致します。これからも楽しい企画を考えて参りますので、今後ともサポーターズ栄を宜しくお願い致します。

ららぽーと立川の熊と記念撮影しました「大きかったな〜」
サポーターズ：増山 (マシヤマ)

栄福社会は、半身麻痺や高次脳機能障害をお持ちの方やご高齢の方が、地域の皆様と共に、自らが持つ能力を無理なく伸ばして、それぞれが持つ目標に向かい、あゆみ続けることをサポートします。

就労継続支援 B 型キッチンさかえ



商品にならずに廃棄する予定だったデニムの生地を、たくさん頂きました。そのデニムの生地に「刺し子」を縫っています。刺し子は布の上に同一の模様を繰り返し縫っていく日本の伝統的な手芸法の一つです。

厚いデニムの生地に糸を通し均等に繰り返し縫っていく作業は、指の力が必要だし何より神経を使う作業です。

10月11日(金)から10月20日(日)までJR国分寺駅に隣接しているマルイで開催された「秋のスイーツ&ハンドメイドフェア」に米バッグやキルトポーチなどを出品しました。より多くの方々になごみやの商品を知ってもらえたことと思います。

キッチンさかえでは、チラシ・広報誌・名刺・封筒等の印刷、封入封緘および発送作業やノベルティグッズ制作を承ります。また、くるりん食器(再使用食器)の無料貸出もごございます。

お問い合わせ先 電話 042-540-1033 担当 斉藤

地域密着型通所介護 サポーターズさかえ



10月26日(土)の昼食は理事長の指導の下「手作りうどん」を体験しました。準備から色々大忙しでしたが経験者の方もいらっしゃり手際良く美味しく仕上がり召し上がれました。

10月31日(木)最高の天気だったので小平の薬用植物園へ行き売店にあった「観賞用トウガラシ」に一目惚れしお買い上げされました。四季折々植物も観賞しましょうね。

サポーターズさかえは、1日15名までお越しいただけます。空き状況等は、お気軽におたずねください。随時、見学もお受けいたします。また、ご利用日のお帰り時に、キッチンさかえが作るお弁当のご用意もできるようになりました。

お問い合わせ先 電話 042-540-1034 担当 猪股

居宅介護介護 ケアサポートさかえ

「第1回自立支援会議に参加」

自立支援会議は包括支援センターが中心で個別ケースの課題検討を行う会議です。内容は高齢者等が地域において、その人らしい生活が継続することを可能とするため、(下)



その人が抱える課題の解決に向けた検討を行い、専門職のケアの質を高め、その人のニーズの充足を目指すとともに専門職のスキルアップへとつなげていく会議です。今回、立川市の包括支援センターで初めて開催された会議に当事業所が第1回目としての症例発表をしてきました。(次回に続く)